

第582号
2016年6月17日

戦争法廃止！
改憲を許さないぞ！

東 学



東京都学校事務職員労働組合
東京都新宿区高田馬場 3-14-14
03-3367-6783
東学 Web <http://tougaku.net/>

住居手当調査で都教委に申し入れ

～「独自判断」を誇るなら、不当な個人情報収集は行わない～

都教委は毎年5月頃、文科省の求めに応じ、住居手当の支給対象人数やその家賃負担の状況等に関する調査を行っている。義務制教職員の給与費は法によってその1/3が義務教育費国庫負担金で手当てされており、そこには当然、住居手当が含まれているためだ。国庫負担金は定数配置基準、諸手当の支給基準など全て国基準に基づいて、各都道府県におろされている。

ところが都・都教委は2012年度から、「独自判断」によって住居手当の支給対象を35歳未満に限っている。国基準では年齢制限がないため、現場の事務職員は調査に際して、35歳以上の教職員に対し、個別に、家族構成や世帯主か否か、借家か持家か、借家なら家賃はいくらか、などを聞かなくてはならない。当の職員にしてみれば、もらってもいない住居手当に関して個人情報を収集されるいわれはないし、そんな不当な仕事を押し付けられる事務職員にとっても迷惑な話だ。

事務職員定数についても都教委は「独自判断」によって、標準定数法を無視して補正定数を廃止、共同実施地区では1校1名の基本定数までも削減するなど国基準を大幅に下回る配置しかしていない。

国基準を下回る「独自判断」で我々の給与や定数を削減し、国庫負担金を流用していながら、国基準による調査で学校現場に迷惑をかけるのは納得できる話ではない。東学は5月19日、都教委に対し、下記の申し入れを行った。

不当な個人情報収集を行う現員現給調査について(申し入れ)

貴職は『義務教育費国庫負担金に係る現員現給調査』として住居手当の調査を行っているが、住居手当支給対象外教職員についても調査対象として学校を通じ住居の状況を調査するように地教委に求めている。

住居手当の支給対象を定めた貴職が、調査と称して住居手当支給対象外教職員に対しての不当な個人情報収集を学校に押しつけようとするのははなはだ遺憾であり即刻中止すべきである。

また義務教育費国庫負担金について言えば、貴職は事務職員について国基準を大幅に下回る配置しかしておらず、その分を他へ流用している。東京都(教育委員会)として、独自判断を誇るのであればこの調査について国基準を口実に不当な個人情報収集を行うことは理解できない。

よって、下記申し入れを行う。

貴職の誠意ある対応を期待する。

記

1. 「住居手当支給対象外教職員」に対して、住居の調査を行わないこと。

人事考課制度は労使交渉事項にすべきだ ～自己申告・業績評価は、賃金・労働条件に大きく影響を与えている～

今年度も自己申告の当初申告が始まっている。

自己申告制度は本来、職員が自分の職務の在り方や研修・能力開発、人事異動などについて自主的・自発的に意見を述べる機会であるはずだ。

ところが1997年度から自己申告に目標管理的手法が導入された。さらに1998年度からは自己申告が業績評価の評定材料の一つとされることとなった。それにより、自己申告で職員が「どのような職務目標を立てたか」、「その目標をどれだけ達成できたか」が業績評価に反映し、昇給・昇任、勤勉手当の成績率、再任用、分限処分などの賃金・労働条件に多大な影響を与えるようになっていく。

現行の自己申告制度には、以下の問題点が指摘できる。

1. 病弱者や家事・育児・介護などを抱える職員の差別・切り捨てにつながる。
2. 区市費事務職員や管理職・教員・主事などの協力・協働のもとで遂行している職務について、当該事務職員の個別的目標達成度の評価は基本的に成立しない。
3. 学校事務についての認識・理解が不十分な管理職から、職務目標の一方的押し付けや本務外労働の強要などがおきる可能性が高まる。

また、業績評価については、客観性・公平性が担保されておらず、都当局が「評価者訓練をやっている」ということを口を酸っぱくして言っても、それだけで恣意的評価を排除できるわけがないことは言うまでもない。

東学は5月20日、都教委に対し、人事考課制度(自己申告制度・業績評価制度・本人開示・苦情処理制度)を労使交渉事項をすること、などを内容とする「自己申告制度に関する申し入れ」を行った。人事考課制度が職員の賃金・労働条件にリンクするにもかかわらず、「管理運営事項であって労使交渉事項ではない」とする都教委の姿勢は不当だ。

5. 3憲法集会に50000人

今年も5月3日に憲法集会が「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」を中心に有明防災公園で開催され、東学も参加しました。去年の30000人をも大きく上回る50000人の労働者・市民が結集し、戦争法反対、憲法破壊を許さない運動はますます高まっています。

集会では「戦争法廃止を求める2000万人統一署名」がこの日の時点で1200万筆に達したことが発表されました。署名への取り組み・ご協力ありがとうございました。

戦争法廃止、改憲阻止に向け、取り組みを継続しましょう。

【編集後記】

編集の合間に手に取ったラブ・コメコミック『俺物語！！』。感動に涙した。

「(彼女に他に好きな人ができたとしても)問題ない！(彼女が)悩んでいることのほうが問題なんだ」と当たり前言い切る巨漢の高校生、猛男。そんな猛男を世界一かっこいいと思い、女友達に「とらないでね」と涙目になる彼女、大和。所謂「イケメン」でもてななのに「友達(猛男)の悪口いう女とつきあいたくなくね？」と振りまくる親友、砂川。

人間は弱い。そんな、そのままでは弱い人間のメンタルを支えるのは、しばしば真理の追求など現状の自分を超越するものの存在だが、他者への愛情もその一つだ。自分のためだけだとがんばれないことでも、大切な誰かのためだと思えばがんばれることは多くある。『俺物語！！』にはそんな「意味を求める生き物」としての人間の崇高さと、自分を超越する可能性の広がり感動的に描かれている。

(加入のお申し込み・ご相談先)

本部連絡先: 世田谷区若林小学校・事務室 松永哲次 TEL03-3413-0655

地区連絡先: